



2/23~2/26 トルコ大地震救援募金を実施 3/7 トルコ大使に手渡す



4/29 地域の皆さんと王仁公園を清掃



5/16 NPO法人「エスペランサ」理事長と障害者サッカー試合について協議



5/16 枚方市に京阪互助センターの地域見守り事業への協力協定を橋渡す

後援会活動のお知らせ

佐藤ゆかり大阪後援会 BBQ総会を開催!

4月15日、山田池公園にて佐藤ゆかり大阪後援会の総会に伴うBBQ大会を雨天決行、枚方市議選に出馬予定の皆さんも来られてテント下でBBQを挟んだ親交を温める機会となりました。また4月2日にはTEAM SATOによる桜見のBBQも行われ、後援会活動も活況です。皆さん、佐藤ゆかりへのご支援の一環として、是非、後援会活動に楽しくご参加されませんか。



佐藤ゆかりの発信情報を以下のサイトで是非ご覧ください!

- LINE @satoyukari.japan
- YouTube www.youtube.com/user/SatoYukariMOVIE
- ホームページ http://www.satoyukari.jp/
- Facebook facebook.com/satoyukari.japan
- Twitter twitter.com/SatoYukari
- Instagram instagram.com/satoyukari.jp/



自民党大阪11区支部 佐藤ゆかり事務所のご案内  
〒573-0022 大阪府枚方市宮之阪1-23-12 1A TEL. 072-845-4403 FAX. 072-845-4404

前衆議院議員 佐藤ゆかり プロフィール (大阪11区:枚方市・交野市)

自民党前衆議院議員/経済学博士 1961年生まれ。コロンビア大学政治学部卒・同大学院国際関係学科卒、ニューヨーク大学経済学博士課程卒。2005年衆議院初当選、2010年参議院比例代表当選、2014年から大阪11区衆議院議員(2021年衆議院選挙にて惜敗)。環境副大臣、総務副大臣兼内閣府副大臣、経済産業大臣政務官、参議院消費者問題特別委員長、自民党経済産業部会長、党観光立国調査会副会長等、経産省産業構造審議会委員、クレディスイス証券経済調査部長、中央大学客員教授、等歴任。現在、ホソカワミクロン株式会社社外取締役、他多数企業・団体顧問。(令和5年6月現在)

YS NewsLetter

枚方市・交野市から改革  
自民党大阪11区・前衆議院議員  
佐藤ゆかり ニュースレター  
|発行| ©自民党大阪11区支部・佐藤ゆかり事務所  
大阪府枚方市宮之阪1-23-12 1A TEL:072-845-4403 FAX:072-845-4404

2023 夏号

大阪の経済無策は許さない!!

保存版

バイタリティー 人一倍で活動

4月の統一地方選挙では大阪維新の会が府議会・市議会で議席を拡大。しかし、府知事や市長には、市民の直接投票で選ばれる二元代表制により、国会議員の間接選挙で選ばれる内閣総理大臣よりもより大きな権限が与えられているのが事実です。この結果、府議会・市議会を知事・市長と同じ政党が占有する偏った構成になると、本来の地方行政に対するチェック機能が失われ、大きな権限をもつ知事・市長の言いなりに議会が陥るなどの民主主義に対する危険性が生まれます。

確かにこの10年間、大阪維新の会による大阪府政において、府内各地で雇用や所得が大幅に低下し、経済はもとより、治安、教育、コロナ対応などのあらゆる指標で、大阪府が全国平均以下へと顕著に地盤沈下しました。こうした大阪の経済無策を決して許し続けてはなりません。2025年関西万博という大阪浮揚の絶好のチャンスをつかえ、今こそ反転攻勢すべきです。

私、佐藤ゆかりは、前回の衆議院選挙で日本維新の会の新人候補に敗れ議席を失いました。しかし、落選の日々においても、国の各省庁との連携を続け地元の陳情にお応えしています。政治家が適切に対応しなければ、枚方市・交野市は更に遅れをとる、との危機感と与党前議員としての責任感が佐藤ゆかりを突き動かしているのです。枚方市、交野市、大阪府の行政のダメな所にはきちんとノーを言い、改善を求める果敢な政治家であり続けるため、皆様の引き続きのご支援を宜しくお願いいたします。

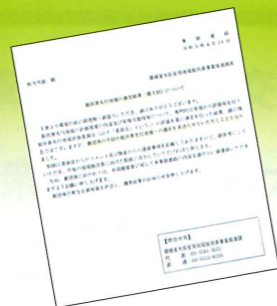
佐藤ゆかり

自民党 前衆議院議員

佐藤ゆかり



5/16 枚方市環境部から指定落選について報告を受ける



環境省から枚方市長への落選の結果通知

# 枚方市、「脱炭素先行地域」に またも落選!

枚方市では、環境省が行う「脱炭素先行地域」の指定へ2022年1月の公募に応募し落選、1年かけて練り直し、今年2月2度目の応募をしたところ、再び落選!連敗の要因には、枚方市が与党自民党支援を拒否していることが挙げられます。実は2020年、当時環境副大臣であった佐藤ゆかりの呼びかけにより、枚方市は大阪府で第1号の2050年カーボンニュートラル宣言市に見事採択されました。そして招提大池での浮体式太陽光パネルの活用等の具体策を佐藤ゆかりが枚方市に提言。しかし昨年、維新の会の中司宏氏が衆議院議員に初当選すると、惜敗した佐藤ゆかりから申し出た枚方市長を環境大臣に引き合わせる面会セットを枚方市が断るなど、与党との連携拒否に転じ、結果、今回2回めも地域指定から落選するいばらの道に。野党・維新の議員の君臨を廃し、与党・佐藤ゆかりの一日も早い国政復帰が必須な所以です。



## 衆議院選後に減る国の枚方市への予算配分

衆議院議員選挙		(単位:千円)					
事業名	国費/内示率	2020年度補正	2021年度当初	2021年度補正	2022年度当初	2022年度補正	2023年度当初
《長尾杉線(御殿山小倉線)》 都市計画道路	国費要望額	163,960	668,440	196,715	373,536	553,259	656,975
	国費内示額	163,726	530,385	183,620	303,342	244,861	380,661
	内示率	100%	79%	93%	81%	44%	58%
《枚方市駅前(光善町西地区)》 都市整備	国費要望額	—	219,977	—	1,954,647	90,862	1,333,937
	国費内示額	—	218,103	—	1,952,200	26,290	1,190,219
	内示率	—	99%	—	100%	29%	89%
《枚方市駅前(周辺再開発)》 まち活性化	国費要望額	55,000	1,149,369	—	172,950	2,517,968	3,504,936
	国費内示額	55,000	1,001,928	—	172,950	720,794	2,945,833
	内示率	100%	87%	—	100%	29%	84%

出所: 枚方市データを佐藤ゆかり事務所にて加工  
注: 赤色の箇所は、国の予算内示率における直近約2年間の大規模予算カットを示す。

# 枚方市駅前再開発や 道路予算も 国がカット!!

2019年、佐藤ゆかりの熱心な働きかけにより、国は枚方市駅前を「緊急都市再生整備地域」に指定、以後3年間で国は、枚方市総合文化芸術センターに13億円、枚方市駅前再開発に31億円など、毎年総額15億円規模の大型予算を佐藤ゆかりと共に付けてきました。一方、大阪維新の会の府議が枚方市で半数を占める大阪府からは、枚方市駅前の予算付けが停滞し、さらに、一昨年の衆議院選で日本維新の会候補が初当選すると、その後枚方市駅前再開発や市の都市計画道路に対する国の予算の内示率までカットに至りました。そこで事業への遅延を案じた佐藤ゆかりは、長尾杉線の建設現場の視察に急遽動きました。予算獲得の可否を通じて、選挙結果が地元市民の生活基盤に如実に影響を及ぼしかねない事実を、多くの枚方市民・交野市民が認識すべきです。予算を動かす与党は自民党・公明党であり、日本維新の会は間違いなく野党です。



5/17 都市計画道路長尾杉線の建設現場を視察

# 大阪の経済無策は許さない!

# 次は交野市か?

# 遭う枚方市?

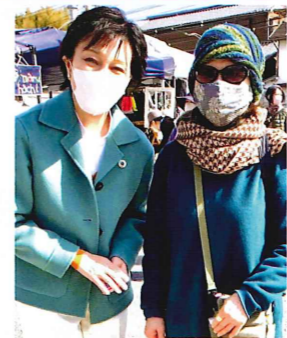
# 予算カットに

# 維新の国会議員誕生で



# 社会保障から憲法やエネルギーまで、あらゆる課題を網羅

## 岸田政権の「106万円/130万円の壁見直し」を斬る!



働く女性の話を耳を傾ける佐藤ゆかり

岸田政権では今年3月、円安による物価上昇を踏まえた賃上げ推進のため、所謂106万円の壁/130万円の壁の存在により、賃上げしてもパート雇用者が年収を増やさないよう労働時間を削減してしまう問題について対応策を約束、その骨子案を6月の「骨太の方針」に記載予定です。しかし、地元の女性雇用者からは、賃上げに伴う社会保険料の増額により手取りが減少する中で、その相殺のため国が直接雇用者へ補助すると、単身者と被扶養者の雇用者間不公平が生じるとの懸念が。佐藤ゆかりはこうしたご意見を踏まえ、早速、厚生労働省年金課長に連絡、目下政府検討中の支援策について、中小企業等に補助することで、手取り減少額を上回る賃金補填を事業主ができる施策を提案、これが実現すると被扶養者が否かに関わらず、雇用者間の不公平が排除されます。働き手にとり皆が賃上げを喜ばしく受けとめられるよう、佐藤ゆかりは具体的提言を続けてまいります。



## 交野市発展の起爆剤に~JR新駅をつくる!

交野市民には、いきいきランドの東側にJR学研都市線の新駅を作る夢の構想があり、佐藤ゆかりも交野市まちづくりの一環として、早速この計画の前進に着手しました。JR学研都市線は、津田駅と河内磐船駅間の区間が空いており、周辺地域には創価学園などの学校もあることから、新駅は学校生徒を含む多数の乗降客が見込め、通学・通勤の利便性を高めて交野市の発展を図れる一方、枚方市東部地域にとっても、交野市とのより一体的なまちづくりの発展の拠点となります。新駅建設は、交野市とJR西日本との協定策定や国交省近畿運輸局の認可のもと、駅舎や駅前広場の設計、用地買収、建設土木工事から、周辺宅地開発、まちづくりにまで地域経済効果が見込めます。国には、(独)鉄道・運輸支援機構を経由した新駅整備費の補助制度などがあり、佐藤ゆかりは国の補助事業のメニューを駆使しながら、新駅整備計画の策定を支援し、国の予算獲得に必要な要望活動を実施してまいります。



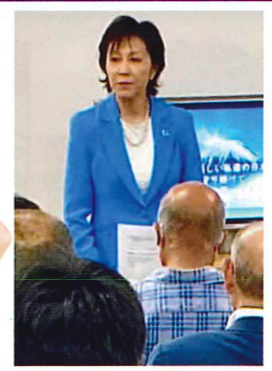
## 枚方市・交野市に水素ステーションを構築する!

大阪・東京を無給で往復する仕事のバイタリティーは人一倍! 3年前営総理が表明した2050年カーボンニュートラルの公約を機に前衆議院議員佐藤ゆかりが活発に動いています。佐藤ゆかりが設立した自民党国会議員による「カーボンリサイクル推進議員連盟」では、空気中からCO2を直接回収するDAC技術に代表されるカーボンリサイクルを、今後のカーボンニュートラルに不可欠なCO2再利用の技術として推進しています。特に液体合成燃料e-fuelは、裾野の広い自動車産業の雇用ピラミッドを壊さずにグリーンイノベーションを推進する自動車や航空機用の燃料として、議連でも産業育成に注力。既にEUでは、2035年にe-fuel使用のエンジン車が解禁予定であり、日本でもEV車に偏らず、e-fuelの商用化が喫緊の課題です。佐藤ゆかりは今後枚方市・交野市でも、水素ステーションの建設など先進的エネルギー供給基盤の構築を弛まなく構想中です。



3/28 議連総会で相談役としてご挨拶

## 憲法改正集会で自衛隊の憲法明記を訴える!



5/14 憲法改正集会で自衛隊明記等を語る

5月14日、自民党大阪11区支部(支部長佐藤ゆかり)にて、今年府内初の「憲法改正研修会」を開催しました。大勢の参加者のもと、日本会議事務局も来場、東日本大震災、コロナ対応、南スーダン等への国際貢献における自衛隊の活躍を表すビデオ上映とともに、自民党の憲法改正案4項目(自衛隊明記、緊急事態条項新設、合区解消と地方公共団体、教育充実)について、佐藤ゆかりが具体例を用いて解説。戦後78年が経過し、北朝鮮のミサイル発射の濫発はもとより、2年前には津軽海峡を中露のミサイル駆逐艦等が隊列で横断するなど、日本を取り巻く安全保障環境は中露北朝鮮の動きの下一段と厳しさを増しています。サイバー戦争、宇宙戦争も想定される時代環境のもと、自衛隊の新たな概念やその範囲を個別法で運用するには限界があり、緊急事態にも対応できる普遍的概念としての憲法改正は必須です。



東日本大震災で避難民を救助する自衛隊